

令和 3年 3月 5日

保護者の皆様

吹田市立青山台中学校
校長 開 康 壽

令和2年度学校教育アンケートの報告

厳寒の候、保護者の皆様には日頃より本校教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。この度はお忙しい中、学校教育自己診断のためのアンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。アンケート結果を分析いたしましたので、ご報告いたします。

《アンケート結果について》

☆「よくあてはまる」と「おおむねあてはまる」の合計が70%以上になった項目

(生徒)

- 1 学校へ行くのが楽しい。(82%)
- 3 部活動に積極的に取り組んでいる。(77%)
- 4 楽しみにしている(楽しかった)学校行事がある。(71%)
- 5 各教科の授業はわかりやすい。(72%)
- 6 授業に集中できている。(77%)
- 8 学級活動では意見を発表する機会が与えられている。(77%)
- 9 人権の大切さや社会のルールについて学んでいる。(83%)
- 10 将来の進路や生き方について考える機会がある。(79%)
- 11 先生は私たちの意見をよく聞いてくれる。(71%)
- 12 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。(73%)
- 13 先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。(74%)
- 16 先生は、生徒の健康・安全について気をつけてくれる。(80%)
- 17 相談できる友人がいる。(88%)
- 18 気軽に相談できる大人がいる。(72%)

☆「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」が30%以上になった項目

(生徒)

- 19 地域の行事などに参加している。(44%)

今年度は『14項目』が肯定的な回答70%以上という結果になりました。一斉臨時休校が長期間にわたった事が影響し、今年度の学校生活が行われている事、友達と学校で話せる事の「嬉しさ」や「喜び」を再確認できた事が数字に影響している点と、大規模改修が終わり、校舎・教室がきれいになった点、プロジェクターが教室に設置され授業の展開が変化してきた点が数値に反映していると思われます。特に「5」「6」の数値が高くなりました。これまでの「話を聞いてノートに書く」ことから、自分の意見を発表したり、友達と意見交換をしたり、映像等を視たりする機会が増えたことが考えられます。また、「11」～「13」においても、少しでも生徒と関わる時間を取ろうと授業の前後や放課後に立ち話をする姿をよく見かけるようになりました。

否定的な回答の割合が高くなった「19」に関しては、全国的な自粛ムードの中で、例年行われてきた催しが軒並み中止になり、地域と関われる機会が激減しました。来年度は徐々にイベントが行える環境となることで、生徒の積極的な関わり参加を促していきたいと思っております。

☆「よくあてはまる」と「おおむねあてはまる」の合計が70%以上になった項目

(保護者)

- 1 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。(76%)
- 2 青中では「青中フェスティバル」など特色ある教育活動が行われている。(81%)
- 3 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。(84%)
- 5 子どもは学校に良い友達がいると言っている。(92%)
- 6 子どもは積極的に部活動に参加している。(3年生は引退まで)(78%)
- 7 先生は子どもの間違っただ行動を厳しく指導してくれる。(76%)
- 9 先生は子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。(70%)
- 11 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。(74%)
- 12 学校は人権を尊重する意識や社会のルールを守る態度を育てようとしている。(81%)
- 13 学校は生徒の安全や事故防止に配慮している。(90%)
- 14 学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。(72%)
- 15 通知表は工夫されている。(70%)
- 16 学校では子どもに関する個人情報を守られている。(81%)
- 17 学校は保護者が行事や授業を参観する機会を設けている。(70%)

☆「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」が30%以上になった項目

(保護者)

- 4 子どもは授業がわかりやすいと言っている(32%)

保護者の方からは、全ての設問において肯定的な割合が高い結果のご回答をいただきましたが、「授業がわかりやすい」といっている」に関して、肯定的な回答の割合の方が多いですが、約30%が否定的な回答となりました。生徒のアンケート結果では授業に関する項目において、一定の改善傾向が見て取れる結果でしたが、学校としては授業が「わかりやすい」ものとなるように、一層の工夫・改善に取り組んでいきます。

今年度は2期の大規模改修が終わり、普通教室の設備が一新しました。これまで『聴く』『書く』が大部分を占めていた授業から、プロジェクター等を使った授業で視覚的な働きかけや、発表させる機会を作るなど、『見る』ことと『話す』要素を多く取り入れる授業に少しずつ変わってきました。

さらに、来年度からは生徒一人に1台の『SUNネット端末(PC)』を持った状態がスタンダードになっていきます。「教えてもらう」ことはもちろんですが、PCを駆使して「自ら学習する」姿勢の育成に努めます。今年度末に一気に取り入れた「GIGAスクール構想」なので、通信環境の整備や教員自体の研修など、まだ至らないことがあります。「授業がわかりやすい」につながるよう取り組んでいきます。

これまでも学校生活の様子は、積極的にホームページのブログ『日々の青中』に配信してきましたが、まだまだ保護者の方々が学校に来ていただく行事や取り組みの機会は少ないことが予想されます。これまで以上に生徒たちの頑張っている様子を紹介していきますので、楽しみにしていただければと思います。